



嶺北消防組合消防総合訓練 H20.6.28開催

あわら 市議会だより

第17号

平成20年
7月15日 発行



北潟花菖蒲園 (五月晴:さつきばれ)

おもな項目

6月定例会報告	2p
委員会報告	3p
一般質問	8p
議会日誌・ふるさと探訪	14p

6月定例会

平成20年度一般会計予算額

116億 7.947万9千円に

- ◆雲雀ヶ丘寮民営化へ 指定管理者制度導入を決定
- ◆産業団地整備事業造成工事請負契約 2億8,140万円で締結 (古屋石塚地係)
- ◆あわら市監査委員に「高橋憲治氏」の選任に同意
- ◆あわら市選挙管理委員会委員
「中嶋茂昭氏」「笹原修武氏」「吉江真雄氏」「長谷川巧氏」に決定
- ◆食料・農業・農村政策に関する意見書を可決

第31回の6月定例会は、6月6日から23日まで、18日間の会期で開催されました。初日は専決処分に関するもの3議案、繰越明許費に関するもの3議案、一般会計補正予算をはじめとする予算に関するもの6議案、条例の改正に関するもの2議案と請願1件、陳情5件を上程し、各常任委員会に付託し人事に関するもの3議案については原案のとおり同意しました。二日目に、一般質問が行われ、13人の議員が、行政上の問題をただしました。最終日には各常任委員長報告の後、採決が行われ、各常任委員会に付託した全議案及び追加議案2件を原案どおり可決しました。また、請願1件を不採択とし、陳情5件を採択しました。その他、意見書1件を可決しました。

市議会トピックス

永年勤続表彰

第31回定例会の冒頭で、「福井県市議会議長会 永年勤続表彰」の伝達がありました。

●在職10年以上表彰

- 杉田 剛 (町議28年、市議4年)
- 橋本達也 (町議16年、市議3年)

※町議時代の年数については1/2で計算しています。



表彰を受ける、杉田 剛 議員

常任委員会報告

総務常任委員会

●一般会計補正予算

監理課所管では、庁舎屋上防水工事費1,000万円及び庁舎内照明器具取替工事費590万円が計上されています。

質疑の中で平成18年度に庁舎統合に伴う改修を行っており、何故その時に施工できなかったかとのことに対し、平成7年度に庁舎の屋上防水工事を施工しており、10年間の補償期間内で対応してきたが、新たな防水箇所が必要になった。今後は、適切な時期、財源を十分考慮しながら対処するとのこと。また、照明器具取替工事については、省エネタイプに取替えるとのことだが、十分精査して、良い製品を導入すべきとの意見が出されました。



防災資機材格納庫

また、防災機材等整備事業補助金25万円。これは自主防災組織の結成促進と育成推進を図るため、組織の立ち上げの

●議案外の意見

推進方法等については区長会等に対し、消防署と連携をとりながら啓発に努めるとのこと。消防庁舎の取り扱いについてありますが、嶺北消防組合からの要請として、金津署改築案、芦原署改築案、また、最先着隊の現場到着の状況を地区別に表したもの、さらに金津署を改築する場合の候補地などの説明を受け、委員から、職員配置、金津署の改築場所を考慮すれば、2署を残すべきでないか等、十分検討すべきであるとの意見が出されました。また、入湯税の

調定に1,744万7千円を計上、分割納付による回収など適正な滞納整理、また、平成20年度以降は滞納額が発生しないよう指導強化、適正な賦課に努めていきたいとのこと。委員会としては、閉会中も入湯税の収納事務に関する事務について、継続審査を行い、徹底した原因を究明し、今後、このようなことが起きないように強く指摘しました。

また、入湯税の調定未済等に伴う、今後の処理方法についてであります。平成19年度

●一般会計補正予算

農林水産課所管では鳥獣害防止総合対策事業において、固定柵を20年度より22年度の3カ年に10km設置する。但し地元負担が3割とのこと。この事業において、捕獲した猪は重機を借り上げて穴を掘り処理しており、これに対し支援を行うべきとの質問には、関係者が一体となって先進地視察をおこない、地元にあった対応を協議しながら進めていきたいとのこと。また、田中々排水機場が平成20年度、布目排水機場が平成24年度に整備、補修を予定しています。

2排水機場の建設年度が昭和41・42年と変わらな

産業建設常任委員会

●一般会計補正予算

農林水産課所管では鳥獣害防止総合対策事業において、固定柵を20年度より22年度の3カ年に10km設置する。但し地元負担が3割とのこと。この事業において、捕獲した猪は重機を借り上げて穴を掘り処理しており、これに対し支援を行うべきとの質問には、関係者が一体となって先進地視察をおこない、地元にあった対応を協議しながら進めていきたいとのこと。また、田中々排水機場が平成20年度、布目排水機場が平成24年度に整備、補修を予定しています。



熊坂区に設置された固定柵

いが、県内には他にも整備する施設があり、調整をしており整備年度が異なるということでした。観光商工課所管では商業補助金350万円が当初予算には計上されず、補正予算で計上された経緯についての問いには、商工フェスタは饅頭まきなどに100万円も使ったことから事業内容について十分に検討して欲しい

いとの思い、湯かけまつりは多くの市職員が動員され行政に偏った自主性の無い夏祭りとなっていたことから、当初予算には計上しなかったが、商工フェスタは、無駄なことはやめ、商工会の発展のため市内の企業のいいところを子供たちに見せたいとの思いが伝わってきたこと、また、湯かけまつりは、観光協会と実行委員会が中心となり、仔細な実施計画が立案されたことから、今回の計上となったことです。湯かけまつりの予算案で、湯かけ御輿費が増額になってるのはなぜかとの問いには、昨年は3基で137万円、本年は2基で145万円の予算を組んでおり、数を減らしていいものを造り、長く使うようにするとの回答でした。

が、あわら温泉の宿泊客の多くは中京、阪神方面であることから効果はあるのかとの問いには、羽田空港には1日18万人の利用者があり、少なからずPRはできるものと考えているとのこと。花菖蒲園管理委託料に関連して、花菖蒲まつりの時期に旅館には、菖蒲湯を、街中には庭先などに花菖蒲を飾ってもらうなど北潟湖畔花菖蒲園と結びつけることは考えられないかとの意見もありました。

●議案外の意見

市民コミュニティ活性化事業は、「次世代型観光プログラムづくり」、「空き施設の活用」を事業内容とするアワードの会に決定し、3カ年事業として支援していくとのこと。委員から、人件費に対して支援を行うことにより、支援がなくなったとき混乱が生じるのではないかと問いには、3年間で自立でき

よう対策をとるとのこと。

建設課所管で

は西口駐車場用地購入費1億4,900万円について、この用地は平成14年度に日本たばこ産業から購入しており、市の財産であるにも拘らず購入するのはどうし



改修される花菖蒲護岸

花菖蒲園護岸改修工事について護岸は葦の生えていないところが崩れているかとの問いには、葦を植え護岸が洗われない



西口駐車場予定地

●議案外の意見

北潟と旧金津市街を結ぶ千束・赤尾線の整備の進捗を図ってもらいたいとの要望がありました。

●農業集落排水事業特別会計補正予算

●公共下水道事業会計補正予算

●水道事業会計補正予算

昨年に引き続き、高金利の起債の繰上げ償還に伴う借り換えの経費が計上されており、この措置により、上下水道事業、集落排水事業、約10年間で4億1,600万円の金利負担減となります。委員からは、5%以上の高金利の借換えは来年度で全て終わるのか、どこで借入れするのかの問いには、21年度で終了する見込みで償還年数ごとに入札を行い市中銀行、農協等、有利な条件先より借入れをするとのこと。

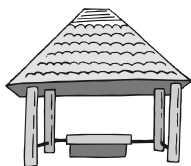


矢地汚水ポンプ場視察

●公園条例の一部を改正する条例の制定について

指定管理者制の導入対象となる公園はとの問いには、現状は大きな公園で市が直轄している公園を考えているとのこと。

委員からは地域性を考慮し指定管理者の導入を進めるべきとの意見がありました。



教育厚生常任委員会

●一般会計補正予算

市民生活課所管では、アオッサに設置の住民票等の自動交付機回線使用料23万9千円は、利用度が少なく経費として高額ではないかとの問いに、市民の利便性を考慮し広域で利用できるように努力したい。現在、本市と永平寺町だけで、将来、他の自治体も加入すれば負担割合も軽減されるためもう少し様子を見させてほしいとのこと。

交通指導員2名が任命されていないことについては、今後、このようなことのないよう十分、検討させていただきたいとのこと。

教育総務課所管では、三国高等学校百周年記念事業補助金について、他の高校へも配慮し補助規定を定めるべきとの問いに、制定に向けて取り組むとのこと。

スポーツ課所管では、



AED

●国民健康保険特別会計補正予算

●老人保健特別会計補正予算

いずれも、特段、質疑はなかったが、老人保健会計は、長寿医療制度施行後も2年間は存続する

●手数料条例の一部を改正する条例の制定について

個人情報情報の面から本人確認が厳密になっているが、本市の対応はとの問いに、公的機関が発行している写真付きの証明証、運転免許証などの提示、持っていない方は、公的機関が発行する保険証、介護保険証、年金手帳など2つ以上のものを掲示するよう求めているとのこと。

●議案外の意見



学校給食センター内

学校給食検討委員会設置要綱に関して説明があ

りました。現在、センター方式、自校方式の2つの方式があるが、民間委託も含めて十分、検討すべきとの意見がありました。

●後期高齢者医療制度に関する請願

制度に関する批判が高まっているため継続審査としてはとの意見もあつたが、委員会では、請願どおり、「制度の廃止または、抜本的見直しが行われた場合、著しい混乱を招くと考えられる」との意見が多くあり不採択となりました。

●閉会中の継続調査

雲雀ヶ丘寮の運営方法等について、6月2日に若狭町にある地域福祉推進拠点施設「五湖の郷」へ、6月17日は、大野市にある社会福祉法人「大野和光園」へ視察研修に行きました。

「五湖の郷」は、指定管理者協定を締結している施設で、平成20年4



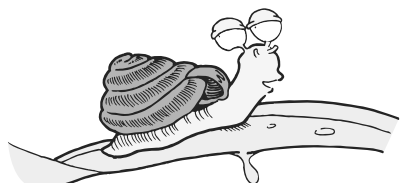
吉崎小学校を視察

月に開設されたばかりです。

「大野和光園」は、昭和27年から社会福祉法人として運営している施設で経営も安定しています。

また、施設職員の処遇は、優遇されており、現場で働く意欲も高いようです。

当委員会では、民営化については、特段、異論はないが、指定先については、白紙として、今後とも閉会中に継続調査していくこととなります。



まちづくり調査特別委員会

北陸新幹線建設の現状と今後の取り組みについてと市民コミュニケーション活性化事業について協議しました。

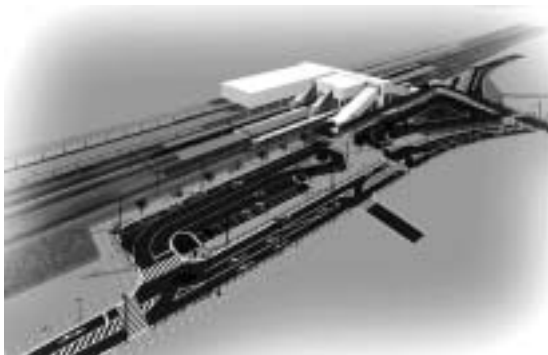
北陸新幹線は、ようやく平成26年に金沢開業が現実となりました。福井県も金沢と同時期開業を強く要望していますが、財源確保の見通しがついていません。しかし、市では、まちづくり交付金事業を利用し北陸新幹線の開業に向けて駐車場や市道の整備を行っています。委員会では、この好機を認識し、芦原温泉駅を交通の拠点としたまちづくり整備を推進することが確認されました。

した暮らしや旅の情報を発信して、市民が主体となったまちづくり事業を行い、次世代へつなげる地域づくりを目的としています。このような、まちづくりに取り組んでいる市民団体と話し合いの場を設けることは、とても大事であると感じました。



空き店舗を利用した「Awarart」事務所

JR芦原温泉駅 西口広場整備イメージ図



次に、市民コミュニケーション活性化事業については、市が助成金を交付する「Awarart（あわらーと）の会」のメンバーから事業の説明を聞きました。この団体は、あわらし市内の資源を活か

6月定例会 請願・発議 審査結果

番号	要旨	付託委員会	議決結果
請願第3号	後期高齢者医療制度に関する請願	教育厚生常任委員会	不採択
陳情第1号	有害野鳥対策に関する要請	産業建設常任委員会	採 択
陳情第2号	猪害対策に関する要請	産業建設常任委員会	採 択
陳情第3号	稲カメムシ防除等害虫絶滅に関する要請	産業建設常任委員会	採 択
陳情第4号	農業用ビニール等の廃棄物処理に関する要請	産業建設常任委員会	採 択
陳情第5号	園芸・畜産の活性化と振興に関する要請	産業建設常任委員会	採 択
発議第3号	食料・農業・農村政策に関する意見書		可 決

一部事務組合等報告

三國あわら斎苑組合

3月27日、定例会が開催されました。一般会計予算及び代官山墓地特別会計予算の2議案では、墓地公園第三期貸付地造成に係る償還金の返済が昨年度で終了したことから、一般会計4,916万9千円で、14.4%の減、特別会計575万円で49.5%の大幅な減額とするもので、全会一致で可決されました。

このほか、代官山墓地の貸付状況は、平成19年度で18区画の使用許可を行い、残りは、212区画となっているとの説明がありました。

福井坂井地区 広域市町村圏事務組合

3月26日、定例会が開催されました。はじめに、副議長選挙が行われ、東川継央議員が副議長に就任しました。平成20年度一般会計予算は、全員賛成で可決されました。

YONETUKAN ささおかの設置及び管理に関する条例の全部改正については、平成21年4月から指定管理者制度に移行するため、全員賛成で可決されました。平成19年度一般会計補正予算は、全員賛成で可決されました。

嶺北消防組合議会

3月27日、定例会が開催されました。一般会計予算等4議案

が上程され、全て原案どおり可決されました。一般会計予算歳入歳出の総額を19億3,360万円と定めるものであり、あわらし市の負担は4億9,610万2千円となっております。

5月26日、臨時会が開催されました。一般会計補正予算等の2議案が上程され原案どおり可決されました。坂井市議会の構成員変更のため議案審議に先立ち議長、副議長選挙が行なわれ東川継央議員が議長に、副議長に坂井市の西端敷議員が選出されました。

一般会計補正予算は、消防団の防火衣、消防ポンプ車等の経費が計上されています。今回の補正に関するあわらし市の負担は168万1千円です。

坂井地区環境衛生組合

3月26日、定例会が開催されました。平成19年度一般会計補正予算と平成20年度一般会計予算が審議されました。

平成19年度補正予算は、前年度繰越金が増えたこと等により、歳入歳出をそれぞれ307万9千円増額し、予算総額を2億2,396万8千円とすることを全会一致で承認しました。

平成20年度一般会計予算については、総額2億1,627万6千円とすることを賛成多数で承認しました。

審議の中で、予算規模は前年より159万9千円減額し、負担金は、あわらし市が5,877万7千円、坂井市が1億2,630万円であること、下水道の普及により、し

尿・汚泥等」の搬入量が毎年減少し、1日の処理能力14.5kℓに対して、実際の処理量は67.1kℓと46.3%にまで落ち込み、無駄が大きくなっていること、老朽化している施設を平成23年3月までに更新するが、新しい処理方式は施設で一次処理をした上で、下水管に投入する方式とし、その為、下水管敷設費用として955万円を計上していること、等が報告されました。

平成19年度補正予算は、前年度繰越金が増えたこと等により、歳入歳出をそれぞれ307万9千円増額し、予算総額を2億2,396万8千円とすることを全会一致で承認しました。

平成20年度一般会計予算については、総額2億1,627万6千円とすることを賛成多数で承認しました。

審議の中で、予算規模は前年より159万9千円減額し、負担金は、あわらし市が5,877万7千円、坂井市が1億2,630万円であること、下水道の普及により、し

後期高齢者医療広域連合

3月28日、定例会が開催されました。上程された議案は13件で、いずれも全員賛成で可決されました。副広域連合長の欠員があり、牧野鯖江市長が選任されました。



市政について問う!

6月の定例会では、13名の議員により一般質問が行なわれました。
ここでは、質問と答弁の要旨を掲載します。(順不同)

■嶺北金津消防署の建替えに CSJ

■街路樹の剪定にCSJ ■庁舎内禁煙について

笹原幸信 議員

問

・金津、芦原消防署を統合して新築するの
統合改築するなら住民感情を考慮す
べき、と思つがどうか。
・芦原署は嶺北消防組合では、一番新
しく、まだまだ使えると思つがどう
か。
・金津署を改築し現状の2署体制は考
えられないのか。

答

金津消防署は、施設の老朽化が著し
く、防災拠点としての安全性にも問題
があり、移転建替を検討する時期に來
ています。
芦原消防署については、施設も新し
く、敷地、建物ともある程度の広さ
が確保されています。
あわらし市における消防署の整備方針
については、住民の皆様の感情を考
え合わせますと、現在の2署体制を維持
できないかと考えていますが、財政状
況を考慮し、市民の皆様の安全で安心
なまちづくりを推進するため、なるべ

く早い時期に方針を定めたいと考えて
います。



老朽化が著しい金津消防署

問

・あわら警察署前の街路樹の剪定をト
リムマランが終わった後に実施で
きなかったのか。
・新緑に恵まれたあわらし市を見ていた
だため、細やかな気配り心配りが
必要ではないか。
・事業を実行する際は、関係各所と横
の連絡を取って実施しているのか。

答

市道芦原金津線の街路樹は、JR芦
原温泉駅方面から芦原温泉街を結ぶあ

わらし市のシンボル景観軸となっていま
す。

この街路樹につきましては、街路樹
について害虫が通行人に落ちて皮膚障
害を起こした等の苦情が寄せられてい
ました。このような苦情を受け、街路
樹の剪定を行いました。

また、トリムマランは、新緑をア
ピールしたイベントでもあり、あわら
警察署から宮王交差点までは、ランナ
ーの方々の疲れが少しでも癒されるよ
う、剪定作業を一時中断する配慮もし
ました。

今後も、景観に配慮した実施時期や
剪定方法について検討したいと考えて
います。

問

・市長は喫煙するが、禁煙についてど
のように考えているか。
・庁舎内完全禁煙にすれば、受動喫煙
がなくなり非喫煙者の健康が守られ
ると思つがどうか。

答

県や県内各市町では、施設内全面禁
煙への取り組みをみせており、当市に
おいても、2階の喫煙場所を廃止し、
研修バスを含む公用車内での全面禁煙
なども、検討したいと考えています。
喫煙者は、喫煙をしない方がいる場
所では、極力喫煙をしない、断りを入

市政について問う!

6月の定例会では、13名の議員により一般質問が行なわれました。
ここでは、質問と答弁の要旨を掲載します。(順不同)

■丘陵地の営農対策について 篠崎 巖 議員

問

・丘陵地の園芸営農振興対策について

坂井北部丘陵地の畑作農業ですが、
農業従事者の高齢化や遊休農地の拡大
は、市としても深刻な課題として捉え
ています。

農業施策の中心を丘陵地の果樹や畜
産を含めた畑作農業にシフトし、農地
の解消をはじめ、企業の経営体の育成
そして、学校給食や温泉旅館とタイア
ップした地産地消の推進など、丘陵地
の抱える課題を解消すべく、積極的に
取り組みたいと考えています。



福岡県最大の園芸産地 坂井北部丘陵地

■金津創作の森の今後について ■職員の採用について

山口峰雄 議員

問

・「金津創作の森」のCSJコンセン
スの達成度はどうか。
・今後はどのような方針であるのか。

答

現代アートを紹介するという点や、
小中高の児童・生徒を対象に陶芸やガ
ラス等の体験をしていたいただいでいるこ



10周年を迎える金津創作の森

とから、住民意識の活性化も十分果た
していると考えています。

「今後の方針」につきましては、市
民の皆様の心を癒し、潤いを感じてい
ただける企画を提供し、誇りを感じて
いただける事業を展開したいと考えて
います。

金津創作の森財団は、当該施設の管
理、運営を目的に設立したものです
で、しばらくは当財団を指定管理者と
して指定する予定ですが、将来的には
一般公募も検討する必要があると考え
ています。

問

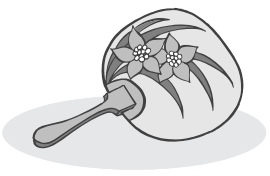
・情報技術系の職員の採用が必要と考
えるがどうか。
・金津高校卒業生の採用優先枠を設け
る考えはないか。

答

多くの自治体では、専門職を採用す
るのではなく、民間の専門家の活用や
委託といった形での対応となっていま
す。

また、人事管理の面から、本市のよ
うな小規模自治体においては、少ない
職員を効率的に配置するため、多くの
部署を定期的に変更させキャリアアッ
プを図っていく必要があるため、情報
部門における専門職の採用は考えてい
ません。

「高校生枠」については、特定の学
校ではなく、今後、上級試験の実施な
どとともに検討したいと考えています。



■芦原温泉の街路灯整備について

関山博夫議員



あわら温泉街

問 芦原温泉街の街路灯整備について

答 あわら温泉街の街路灯については、観光協会が、毎年、2基ずつ更新を行っており、市もこれに係る費用の2分の1を補助しています。

しかし、毎年2基ずつの更新では老朽化に追いつかず、観光協会でも財政的な面で街路灯の管理に苦慮しているとの実情を伺っています。
財政的に厳しい現状では直ちに取組むことは困難ですが、今後とも観光

協会や商工会、旅館組合等の関係団体や地元との協議を進めたいと考えています。

■芦原中学校耐震診断速報値の概要について

八木秀雄議員

問 維持管理を考えると補強するに値する建物であるのか。

全体工事費の見込み額はいくらか。補強工事はどれくらいの期間を見込んでいるのか。また、問題点はないか。

芦原中学校を改修する場合と新築する場合の工事費の比較はどうなっているか。

答 中間報告では、建物は、耐震補強工事により耐震性を確保できるとの報告を受けています。

ただ、今後の維持管理や十分な教育環境を確保することを考慮すると、相当の改修が必要であると考えています。全体の整備費については、教育的観点や財政的な観点から協議したうえで、決定したいと考えています。

学校を運営しながらの工事となるので、できる限り短期間で、生徒の学校生活に支障とならないような配慮をしなければならぬと考えています。

問 独自の交通安全対策はあるのか。

答 交通安全啓発活動は、交通指導員、あわら交通安全協会、交通安全母の会が中心となり、あわら警察署との緊密な連携のもと年間をとおして様々な事業を行っています。
関係団体、関係機関との連携を一層密にし、活動しやすい環境づくりに最大限の支援をしていきたいと考えています。

■中学校整備事業について

石田則一議員

問 中学校整備事業の方針について

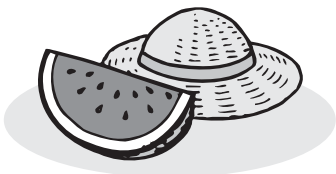
答 中学校の整備方針につきましては、芦原中学校の大規模改修及び金津中学校の改修により、「2校存続」の決定をいただきました。

私は、学校は、生徒にとって「学びの場」であるとともに、1日の約3分の1を過ごす「生活の場」であると認識しています。

具体的には、耐震性の確保はもとより、バリアフリー対策、多様化する教育への対応、地域に開かれた学校などを創らなければならないと考えています。



芦原中学校



■芦原中学校の整備方針について

卯目ひろみ議員

問 今日までの取り組みなどが検討されてきたのか。

給食センターの問題はどのように考えているのか。

給食センターについても、老朽化が進んでいることから、保護者代表や学校給食関係者等から成る給食検討委員会を立ち上げ、その整備を含めたあわらし市全体の今後の給食のあり方について、検討を進めたいと考えています。

■中学校建設の整備について

在日外国人の職員採用について

山川知二郎議員

問 芦原中学校体育館は改築、校舎は改修すべきと考えるがどうか。

現場の先生やPTAなどの意見を聞くべきと思うがどうか。

答 市としては、今後、耐震補強と改修等の方法や時期等について、できるだけ早い時期にその方向性を決定し、整備に着手したいと考えています。

また、設計の段階では、現場の先生方のご意見や保護者の皆様からのご意見などを、できるだけ反映したいと考えています。

なお、今回、耐震診断を実施した施



学校給食センター

問 剣岳地区を通る路線バスが9月に廃止予定であるが、廃止後の措置はどのように考えているか。

答 現在、あわらし市と坂井市を結ぶ広域生活路線としては、県とあわら、坂井両市の補助事業の対象となり、通勤・通学など市民生活の足として運行されていますが、これらの路線の運行継続には、市の多くの財政負担が避けられない状況となっております。

このことから、市としては、生活路線を含め、「コミュニティバスの路線のあり方や運行形態など、全体的な見直しを早急に進める必要があると考えています。

現在、門区まで運行しているコミュニティバスの南ルート1号線を延長して代替させる方法など、あらゆる可能性を検討していきたいと考えています。

問 職員採用にあたって、国籍条項を撤廃すべきであると考えているがどうか。

答 市においては、職員採用に当たり、基本原則に基づき、「一般事務職についてのみ日本国籍を有することを要件とし、それ以外の職種につきましては要件としていません。

この問題につきましては、社会的要請の高まり等もありますが、今後、公務員の任用に関する基本原則をふまえて、県や撤廃した他の自治体の状況を調査しながら、慎重に判断したいと考えています。



コミュニティバス

■防災・減災対策について
■読書活動について

宮崎 修 議員

問

・非常体制時の緊急対応など現在、市の取り組み状況について
・自主防災組織の結成率と今後の見通しについて
・「緊急地震速報」のシステムについてどのように理解しているのか。

・「災害時要援護者」の支援対策の取り組みについて

答

災害発生時の対応は、発災直後の自主活動が、被害を最小限に食い止める重要なポイントになるものであり、地区住民が一致団結して組織的に行動することが何よりも大事です。
本市においては、これまで防災資機材等の整備に係る独自の助成制度はありませんでしたが、今回、新たに補助制度を設けることになりました。
また、「災害時要援護者支援計画」を策定しましたので、区長並びに民生委員児童委員等の皆様と社会福祉協議会に、計画と要援護者登録台帳を交付し、近隣住民による普段からの見守り体制の強化に努めたいと考えています。



浜坂区で開催され防災訓練

問

・子供の読書活動の現状と課題について
・市の読書推進計画策定の取り組みについて
・司書教諭の活動・課題について
・図書整備計画について

答

司書教諭は、中学校では、坂井地区の司書が、年7回の会議を持ち、図書館の運営、図書の購入などについて協議・研修を行っています。
また、小学校では、定期的な会合はありませんが、各学校の状況に応じた図書の購入を含めた図書館管理を行っています。

問

・企業誘致についてはあるか。

答

本市としては、財源の確保と定住人口の増加を図るため、企業誘致を積極的に進めているところですが、これまで、明確な数値目標を掲げ、戦略戦術をもって取り組んで来たとは言いがたいものがあります。
ご指摘のように全庁挙げての推進体制作りが必要であると認識しているところです。

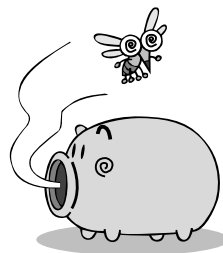
また、あわらし市の経済基盤の安定を図る上でも、商工業の活性化は欠くことのできないもので、既存の企業はもと

■企業誘致促進について
大下重一 議員

このほか、必要に応じて、市立図書館司書による学校訪問を行ったり、資料や図書の貸出しをしたりお願いするなど、市立図書館との連携も図っております。
なお、本市では、読書普及について一般の関心と理解を深めるために、年間を通して読書推進活動を実施しています。



あわらし産業団地（古屋石塚テクノパーク）



■自治体財政健全化法について
穴田満雄 議員

問

・この自治体財政健全化法の施行はいくらから始まるのか。
・4つの指標の数値基準はこのようになっているか。
・自治体への影響はいつになるか。

答

平成21年4月1日からは、4つの指標と公営企業における資金不足比率に対して、それぞれ早期健全化基準と財政再生基準が設定され、基準を上回る地方公共団体には、財政健全化計画や財政再生計画の策定が義務づけられることとなります。
財政健全化計画については、計画に基づく自主的な改善努力による財政健全化が求められ、財政再生計画については、国・県等が関与する確実な再生を求められることとなります。

■公共建物図面のCADデータ保存化について
「市民会議室」の復活について
牧田孝男 議員

問

・公共建物図面のCADデータ保存化について

答

電子化されたデータを事務処理に活用しようとする場合、CADシステムへの導入が必要となります。また、仮に小規模な設計事務を職員が行う場合、相当な専門的建築知識を有する職員を育成することも必要となることから、人事面も含め、これらの費用対効果を十分に考慮し今後検討したいと考えています。

問

・あわらしホームページの「市民会議室」を復活した方がいいと思うがどうか。

答

当市の市民会議室の再開につきましては、県内や全国の動向等を十分勘案した上で行うべきであると考えます。

■芦原庁舎の利活用について
「アスベスト対策」について
北島 登 議員

問

・5月28日、芦原庁舎利活用について新聞掲載されましたが市長の率直な感想はどうか。

答

旧芦原庁舎の利活用方針として、1階部分に芦原南・北の両幼稚園を配置することについて、議会や市民の皆さんのご理解がいただけるならば、これを中心に考えさせていただきたいというもので、決定事項として説明はしていません。



芦原庁舎

答

あわらし市の公共施設のアスベスト調査・対策については、アスベスト6種類のうち、3種類について平成17年度に調査を行っています。
その結果、アスベストの含有が認められた全ての施設については、平成17年度から18年度にかけて、石綿の吹付け部分を囲い込む等の措置を講じています。



議会日誌

- 4月14日 産業建設常任委員会協議会
議会運営委員会
全員協議会
- 17日 教育厚生常任委員会
- 21日 議会運営委員会
全員協議会
- 5月14日 第30回議会臨時会
総務常任委員会協議会
(管内視察)
- 20日 教育厚生常任委員会
- 21日 産業建設常任委員会協議会
(管内視察)
- 22日 教育厚生常任委員会協議会
(管内視察)
- 27日 総務常任委員会協議会
- 30日 議会運営委員会・全員協議会
- 6月6日 第31回議会定例会開会
12日 一般質問
広報編集特別委員会
- 13日 総務常任委員会
- 16日 産業建設常任委員会
- 17日 教育厚生常任委員会
- 18日 まちづくり調査特別委員会
- 20日 議会運営委員会
- 23日 全員協議会
- 第31回議会定例会閉会
- 27日 広報編集特別委員会
- 7月4日 広報編集特別委員会

※おもな会議のみ掲載

ふるさと探訪 吉崎鉄道・随道跡

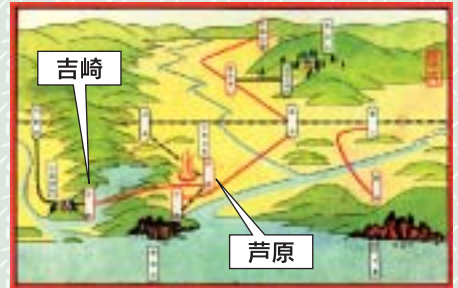
場所は、吉崎地係・主要地方道福井－金津線のやや東側。

鉄道が通る予定のトンネルであったが、未竣工であり、コンクリートが打設されているのは吉崎側から5mくらいまで…工事中で放棄された跡は胸を打つ。

このトンネルに関わる鉄道の歴史の概略を紹介すると、大正8年に地元有志の発起で加越電気株式会社が発立された。加越電気株式会社は、県庁所在地である福井と北前船以来の歴史を持つ港町の三国を結びさらに芦原駅⇒赤尾⇒蓮ヶ浦⇒吉崎⇒石川県の大聖寺へと延伸する路線を計画した。

大正8年12月26日に福井－三国間、三国－大聖寺間の路線免許を取得した。その後、第一次世界大戦後の不況などがあり大聖寺への路線は断念したが、関係者の悲願は消えず新たに吉崎鉄道が設立された。

昭和3年に吉崎側から着手。昭和8年に吉崎から2.5km地点まで工事を進めたところで中断。そのまま免許期限が失効してしまい、又も計画は水の泡となってしまった。
(牧田)



吉崎鉄道 幻のレール



吉崎鉄道・随道跡

編集後記

我が家のペットは猫のミミ、メスの4歳です。田んぼに行く時は軽トラと一緒に出勤し、仕事が終わるまで待っています。田んぼに肥料を播く時は、私の動きに合わせて畦を行ったり来たりします。夜の散歩も一緒、寝るのも一緒、いつも一緒。

そのミミが6月2日突然いなくなり毎晩毎晩探しまわりました。写真入りのチラシも配りました。おまじないを逆さにして玄関にも張りました。半月たっても見つからず、もうだめだと諦めました。行方不明になってから18日目の深夜、奇跡が起こりました。交通事故に会い、前足を複雑骨折し足を引きずりながら、我が家を探し当て戻ってきました。見る影も無く、やせ細った体で懸命に、私の胸に飛び込んで来ました。涙が止まりませんでした。

たかが猫かもしれませんが、私たちににとっては大切な家族なのです。生きるために懸命にがんばったのです。生きていてくれてありがとう。人の命を無造作に扱う昨今、命の大切さを今一度かみしめています。
(笹原)

市議会広報編集特別委員会

- 委員長 向山 信博
- 副委員長 牧田 孝男
- 委員 八木 秀雄
- 委員 大原 幸一
- 委員 篠崎 重巖
- 委員 宮崎 修

発行 あわらし議会 編集 あわらし議会広報編集特別委員会

◆市民に親しまれる、紙面作りを目指しています。ご意見、ご感想をお待ちしております。

〒919-0692 福井県あわらし市市姫三丁目1番1号 あわらし役所議会事務局
Tel. 0776-73-8045(直通) E-Mail. gikai@city.awara.fukui.jp

